

こちらでは生物工学会誌第87巻（2009年）～第98巻（2020年）の『巻頭言“随縁随意”』に掲載された記事がご覧いただけます。

| [98](#) (2020) | [97](#) (2019) | [96](#) (2018) | [95](#) (2017) | [94](#) (2016) | [93](#) (2015) | [92](#) (2014) |  
| [91](#) (2013) | [90](#) (2012) | [89](#) (2011) | [88](#) (2010) | [87](#) (2009) |

第98巻（2020）		
12号	<a href="#">コロナ禍の頃</a> <a href="#">PDF ↓</a>	清水 浩
11号	<a href="#">横の「糸」の大切さ</a> <a href="#">PDF ↓</a>	大利 徹
10号	<a href="#">COVID-19の後</a> <a href="#">PDF ↓</a>	児島 宏之
9号	<a href="#">漫文</a> <a href="#">PDF ↓</a>	川瀬 雅也
8号	<a href="#">人類が身に付けた3つの特殊能力</a> <a href="#">PDF ↓</a>	今井 泰彦
7号	<a href="#">科学者にとってのwell-being</a> <a href="#">PDF ↓</a>	片倉 啓雄
6号	<a href="#">日本のお酒を世界へ</a> <a href="#">PDF ↓</a>	後藤 奈美
5号	<a href="#">ノーベル賞受賞者から香る研究観</a> <a href="#">PDF ↓</a>	田口 精一
4号	<a href="#">バイオ戦略2019</a> <a href="#">PDF ↓</a>	横田 篤
3号	<a href="#">人工知能と工学の可能性</a> <a href="#">PDF ↓</a>	三宅 淳
2号	<a href="#">研究の巡り合わせ</a> <a href="#">PDF ↓</a>	柏木 豊
1号	<a href="#">仮説を証明する</a> <a href="#">PDF ↓</a>	高木 昌宏
第97巻（2019）		
12号	<a href="#">アカデミアによる工学研究</a> <a href="#">PDF ↓</a>	高木 睦
11号	<a href="#">実証研究を考える</a> <a href="#">PDF ↓</a>	本多 裕之
10号	<a href="#">「My hunch is .. (. 私の勘だと……)」または「私のゴーストがそう囁く……」</a> <a href="#">PDF ↓</a>	加藤 純一
9号	<a href="#">微生物の学名と分類学が基盤となるもの</a> <a href="#">PDF ↓</a>	鈴木 健一朗
8号	<a href="#">日本酒が面白い</a> <a href="#">PDF ↓</a>	西村 顕
7号	<a href="#">複雑な微生物系に挑む</a> <a href="#">PDF ↓</a>	金川 貴博

6号	就任挨拶	<b>新会長を拝命して</b> PDF ↓	高木 昌宏 (会長)
		<b>BioscienceとBioengineeringを両輪として</b> PDF ↓	神谷 典穂 (英文誌編集委員長)
		<b>令和時代の生物工学会誌</b> PDF ↓	岡澤 敦司 (和文誌編集委員長)
5号	<b>卒業研究は楽しく</b> PDF ↓	太田 明德	
4号	<b>バイオものづくりは面白い</b> PDF ↓	宇多川 隆	
3号	<b>生物工学会として温故知新</b> PDF ↓	秦 洋二	
2号	<b>あなたの研究の顧客は誰？</b> PDF ↓	栗木 隆	
1号	<b>いま、大学が求められていること</b> PDF ↓	山本 秀策	
<b>第96巻（2018）</b>			
12号	<b>次世代を担う若き研究者にエールを込めて！</b> PDF ↓	倉根 隆一郎	
11号	<b>企業研究者と大学教員</b> PDF ↓	堀内 淳一	
10号	<b>運か才能か</b> PDF ↓	中山 亨	
9号	<b>時と生物工学</b> PDF ↓	朴 龍洙	
8号	<b>独走的研究のススメ</b> PDF ↓	養王田正文	
7号	<b>SGUと学会のグローバル化</b> PDF ↓	伊藤 伸哉	
6号	<b>『生物工学会誌』の益々の発展を～和文誌あれこれ～</b> PDF ↓	稲垣 賢二	
5号	<b>異業種交流会への期待</b> PDF ↓	日野 資弘	
4号	<b>オールドバイオの楽しみ</b> PDF ↓	下飯 仁	
3号	<b>新しい研究テーマを立ち上げる</b> PDF ↓	谷口 正之	
2号	<b>泥臭い研究とスマートな研究</b> PDF ↓	辻 明彦	
1号	<b>技術立国日本における学会の使命と人財の育成</b> PDF ↓	木野 邦器	
<b>第95巻（2017）</b>			
12号	<b>学問ノススメ</b> PDF ↓	安部 淳一	
11号	<b>Vietnam奮闘記</b> PDF ↓	播磨 武	
10号	<b>科学の進歩と科学者の貢献</b> PDF ↓	山田 隆	
9号	<b>企業はもっと発表を，学会の活性化</b> PDF ↓	浅田 雅宣	

8号	<a href="#">Delft Schoolに想うこと</a> <a href="#">PDF ↓</a>	駒形 和男
7号	<a href="#">幸せの無意識的共感のために</a> <a href="#">PDF ↓</a>	遠藤 銀朗
6号	<a href="#">＜就任挨拶＞新会長を拝命して</a> <a href="#">PDF ↓</a>	木野 邦器
5号	<a href="#">アジア若手国際交流のすすめ</a> <a href="#">PDF ↓</a>	長棟 輝行
4号	<a href="#">生物工学とバイオテクノロジー</a> <a href="#">PDF ↓</a>	山本 憲二
3号	<a href="#">オープンイノベーションに向けて</a> <a href="#">PDF ↓</a>	清水 範夫
2号	<a href="#">研究と経営</a> <a href="#">PDF ↓</a>	近藤 恭一
1号	<a href="#">手なづけられるか人工知能（AI）</a> <a href="#">PDF ↓</a>	川面 克行
<b>第94巻（2016）</b>		
12号	<a href="#">楊楓林教授との国際交流</a> <a href="#">PDF ↓</a>	古川 憲治
11号	<a href="#">非公開のオープンイノベーションとは</a> <a href="#">PDF ↓</a>	広常 正人
10号	<a href="#">研究における個性</a> <a href="#">PDF ↓</a>	根来 誠司
9号	<a href="#">思えば遠くへ来たもんだ</a> <a href="#">PDF ↓</a>	松井 和彦
8号	<a href="#">「そうそう」閑話</a> <a href="#">PDF ↓</a>	田谷 正仁
7号	<a href="#">科学技術立国と大学—ベンチャー経験者からの思い—</a> <a href="#">PDF ↓</a>	高見澤一裕
6号	<a href="#">「世界を視野に地域から始めよう」の研究者人生</a> <a href="#">PDF ↓</a>	水光 正仁
5号	<a href="#">発酵放談</a> <a href="#">PDF ↓</a>	勝亦 瞭一
4号	<a href="#">「ものまもり」バイオへの期待</a> <a href="#">PDF ↓</a>	土戸 哲明
3号	<a href="#">創業に関する研究に期待</a> <a href="#">PDF ↓</a>	芳本 忠
2号	<a href="#">新たな学際分野の創出と組織基盤強化</a> <a href="#">PDF ↓</a>	福田 秀樹
1号	<a href="#">年次大会の盛況を見て感じたこと</a> <a href="#">PDF ↓</a>	五味 勝也
<b>第93巻（2015）</b>		
12号	<a href="#">ある研究者の履歴書から</a> <a href="#">PDF ↓</a>	中西 一弘
11号	<a href="#">地球環境問題に対して我が国はどこまで貢献できる？</a> <a href="#">PDF ↓</a>	菅 健一
10号	<a href="#">発見と発明に関する怪談</a> <a href="#">PDF ↓</a>	浅野 泰久
9号	<a href="#">外国人留学生の育成と支援</a> <a href="#">PDF ↓</a>	高木 博史
8号	<a href="#">酵素阻害剤とくすり</a> <a href="#">PDF ↓</a>	森原 和之
7号	<a href="#">微生物学の発展と広がりの中で思うこと</a> <a href="#">PDF ↓</a>	松下 一信

6号	<就任挨拶> <b>新会長を拝命して</b> <a href="#">PDF</a>	五味 勝也
5号	<b>喜んでばかりはられない？</b> <a href="#">PDF</a>	正田 誠
4号	<b>これから研究室を立ち上げる方へ</b> <a href="#">PDF</a>	関口 順一
3号	<b>国立大学改革について思うこと</b> <a href="#">PDF</a>	江崎 信芳
2号	<b>糖質制限とミトコンドリア</b> <a href="#">PDF</a>	永井 史郎
1号	<b>伝統は革新の連続～原点を見つめ、能動的に変化していこう～</b> <a href="#">PDF</a>	倉橋 修
<b>第92巻（2014）</b>		
12号	<b>言いにくいこと</b> <a href="#">PDF</a>	大竹 久夫
11号	<b>予想を超えた結果に出会うとき</b> <a href="#">PDF</a>	久松 眞
10号	<b>なぜ「休眠遺伝子」なのか？—趣味の研究，道楽の研究—</b> <a href="#">PDF</a>	越智 幸三
9号	<b>研究者マインドの確立のために</b> <a href="#">PDF</a>	河合富佐子
8号	<b>企業研究者として</b> <a href="#">PDF</a>	恒川 博
7号	<b>研究者，技術者に大切と思うこと</b> <a href="#">PDF</a>	藤井 隆夫
6号	<b>歴史は繰り返す？</b> <a href="#">PDF</a>	山根 恒夫
5号	<b>ヒトの遺伝子を解析して感じたこと</b> <a href="#">PDF</a>	高木 敦子
4号	<b>アンチエイジングと発酵β-グルカン</b> <a href="#">PDF</a>	岡部 満康
3号	<b>次世代を担う個性（＝独創性）豊かな人材育成を夢見て</b> <a href="#">PDF</a>	小埜 和久
2号	<b>産学官連携におけるコーディネーター（人）の役割</b> <a href="#">PDF</a>	西野 徳三
1号	<b>夢を紡ぐ、夢を繋ぐ</b> <a href="#">PDF</a>	園元 謙二
<b>第91巻（2013）</b>		
12号	<b>産学官連携と技術者視点</b> <a href="#">PDF</a>	下田 雅彦
11号	<b>学生に技術士を勧めよう</b> <a href="#">PDF</a>	浅野 行蔵
10号	<b>国公立大学における教育研究費に思う</b> <a href="#">PDF</a>	林 英雄
9号	<b>われわれはタンパク質を理解しているだろうか</b> <a href="#">PDF</a>	大島 泰郎
8号	<b>「科学」と「技術」</b> <a href="#">PDF</a>	高木 昌宏
7号	<b>医療イノベーションと知財教育</b> <a href="#">PDF</a>	石埜 正穂

6号	就任あいさつ	新会長を拝命して <a href="#">PDF</a>	園元 謙二
		会員が欲する情報の発信をめざして <a href="#">PDF</a>	藤原 伸介
5号		中国での共同ラボに託した夢の実現に向けて <a href="#">PDF</a>	木田 建次
4号		実中研の歴史と未来 <a href="#">PDF</a>	野村 龍太
3号		新しい時代への飛躍 <a href="#">PDF</a>	五十嵐 泰夫
2号		オープン・イノベーションの本格化を目指して <a href="#">PDF</a>	塚本 芳昭
1号		生物工学会100周年に向かって <a href="#">PDF</a>	柳 謙三
<b>第90巻（2012）</b>			
12号		時代の目 <a href="#">PDF</a>	奥田 徹
11号		連携のすすめ <a href="#">PDF</a>	島田 裕司
10号		無から有，組織，分らせる <a href="#">PDF</a>	中西 透
9号		大学の第三の使命 <a href="#">PDF</a>	杉山 政則
8号		京都大学の産学連携について御存じでしょうか？ <a href="#">PDF</a>	牧野 圭祐
7号		天からの贈り物 <a href="#">PDF</a>	石川 陽一
6号		ものづくりに想うこと <a href="#">PDF</a>	坂口 正明
5号		3.11からの再出発における科学の役目 <a href="#">PDF</a>	林 清
4号		イノベーションの起こし方 <a href="#">PDF</a>	松永 是
3号		分野融合の難しさと易しさ <a href="#">PDF</a>	湯元 昇
2号		研究者の楽しみ <a href="#">PDF</a>	木村 光
1号		年頭所感—学会創立90周年を迎えて— <a href="#">PDF</a>	原島 俊
<b>第89巻（2011）</b>			
12号		バイオマス利用研究のすゝめ <a href="#">PDF</a>	鮫島 正浩
11号		信心の師となるも心を師とするなかれ <a href="#">PDF</a>	神尾 好是
10号		秋入学に想う <a href="#">PDF</a>	棟方 正信
9号		生物の多様性と若者への期待 <a href="#">PDF</a>	大宮 邦雄
8号		若者よ，Hazardous Journeyを目指せ！ <a href="#">PDF</a>	今中 忠行
7号		“大学教授生態論”の序文 <a href="#">PDF</a>	緒方 靖哉

6号	<b>就任挨拶-学会創立90周年から100周年への飛躍を目指して</b> <a href="#">PDF</a>	原島 俊
5号	<b>時代の変化に応じた国際学術交流を</b> <a href="#">PDF</a>	石崎 文彬
4号	<b>健忘症に対するささやかな抵抗</b> <a href="#">PDF</a>	谷口 誠
3号	<b>バイオマス活用の促進に向けて</b> <a href="#">PDF</a>	兒玉 徹
2号	<b>麹菌と溶姫</b> <a href="#">PDF</a>	北本 勝ひこ
1号	<b>若手研究者・技術者の人材育成のついで思うこと</b> <a href="#">PDF</a>	奥村 康
<b>第88巻（2010）</b>		
12号	<b>事業仕分けと世界一</b> <a href="#">PDF</a>	土佐 哲也
11号	<b>生物と工学のギャップを埋める“生命の神秘”</b> <a href="#">PDF</a>	阪井 康能
10号	<b>微生物増殖学のすすめ</b> <a href="#">PDF</a>	福井 作蔵
9号	<b>日本生物工学会 うたかたの記</b> <a href="#">PDF</a>	山田 靖宙
8号	<b>未来技術の予測と検証のすすめ</b> <a href="#">PDF</a>	古川 謙介
7号	<b>研究者よ、名を残せ</b> <a href="#">PDF</a>	依田 幸司
6号	<b>新しい産業革命の渦中であって</b> <a href="#">PDF</a>	植田 充美
5号	<b>E-バイオの幕開け</b> <a href="#">PDF</a>	石井正治
4号	<b>アジアにおける今後の国際交流活動のあり方</b> <a href="#">PDF</a>	小林 猛
3号	<b>「科学者」からの提言</b> <a href="#">PDF</a>	室岡 義勝
2号	<b>テロワールと生物工学</b> <a href="#">PDF</a>	清水 健一
1号	<b>日本生物工学会のゆくえ</b> <a href="#">PDF</a>	飯島 信司
<b>第87巻（2009）</b>		
12号	<b>パステルカラーの遺伝子組換え</b> <a href="#">PDF</a>	伊藤 清
11号	<b>日本の技術の国際競争力ー東南アジアにおける環境ビジネスを例にー</b> <a href="#">PDF</a>	吉田 敏臣
10号	<b>魅力が失われつつある職業研究者についての独り言</b> <a href="#">PDF</a>	鎌形 洋一
9号	<b>断想：五十年は一昔</b> <a href="#">PDF</a>	左右田 健次
8号	<b>水に生きるバイオー微妙な感性ー</b> <a href="#">PDF</a>	佐々木 健
7号	<b>日本微生物学連盟の設立とIUMS2011札幌</b> <a href="#">PDF</a>	富田 房男

6号	<a href="#">PDF ↓</a> <就任挨拶> <b>新会長を拝命して</b> <a href="#">PDF ↓</a> <b>放線菌って、どんな生物？</b>	飯島 信司 宮道 慎二
5号	<a href="#">PDF ↓</a> <b>環境・バイオマス研究のあらたな取り組みへ</b>	長島 實
4号	<a href="#">PDF ↓</a> <b>チェンジー英文誌アジアにおける生物工学分野のトップ ジャーナルへ！！</b>	大竹 久夫
3号	<a href="#">PDF ↓</a> <b>不確実からこそ新たな可能性あり</b>	森永 康
2号	<a href="#">PDF ↓</a> <b>和菌洋才</b>	加藤 暢夫
1号	<a href="#">PDF ↓</a> <b>若き生物工学研究者に期待する</b>	手柴 貞夫

[▶このページのTopへ](#)

⇒ [生物工学会誌 - 『巻頭言“随縁随意”』](#)

⇒ [過去号掲載記事（記事種別）一覧へ](#)

⇒ [生物工学会誌Topへ](#)